

作業台キャスターフリーセット CFTD-50

このたびは、ユニオンスチール作業台キャスターフリーセットCFTD-50をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は、作業台に取り付けることによって、作業台を軽く持ち上げるだけでキャスターが効いた状態になり、作業台を簡単に移動させることが出来ます。作業台の配置換えが多い工場や作業所、研究室および学校等で非常に重宝する製品となっております。

キャスター許容荷重 50kg ※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

取付可能作業台 ●AE型●AEW型●BE型●LEW型●TFAE型
 ※AE型の奥行450mmタイプ及びAEW型の間口900・1200mmタイプは取付不可

安全上のご注意 (必ずお守り下さい。)

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 表示荷重以上の荷重をかけないで下さい。

破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ 側面や正面から大きな力をかけないで下さい。

作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ キャスターを効かせる際や移動する時は、天板の上に物を置かないで下さい。また、運搬用には使用しないで下さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ 不安定な場所に設置しないで下さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ キャスターを効かせた状態で、作業はしないで下さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 屋外や水のかかる場所に設置しないで下さい。

サビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■ キャスターを効かせない場合は、アジャスターで水平調節を行って下さい。

傾いていると作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ キャスターを効かせる際は、キャスター4個が床面に接地しているのを確認して下さい。

4個全てのキャスターが床面に接地していないと、作業台が不安定になり危険です。また、作業台が転倒する恐れがあります。

破損・変形し、怪我をする恐れがあります。

仕様

キャスター許容荷重 50kg

型番	寸法(mm)
CFTD-50	W194×D46×H224

※4個で1セット(左右有り)

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。

※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

CFTD2105

製造元 **ユニオンスチール株式会社**
 〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603 番(代)
<http://www.unionsteel.co.jp>

日本製

CFTD-50 作業台に取付方法

適応機種 ●AE型 ●AEW型 ●BE型 ●LEW型 ●TFAE型

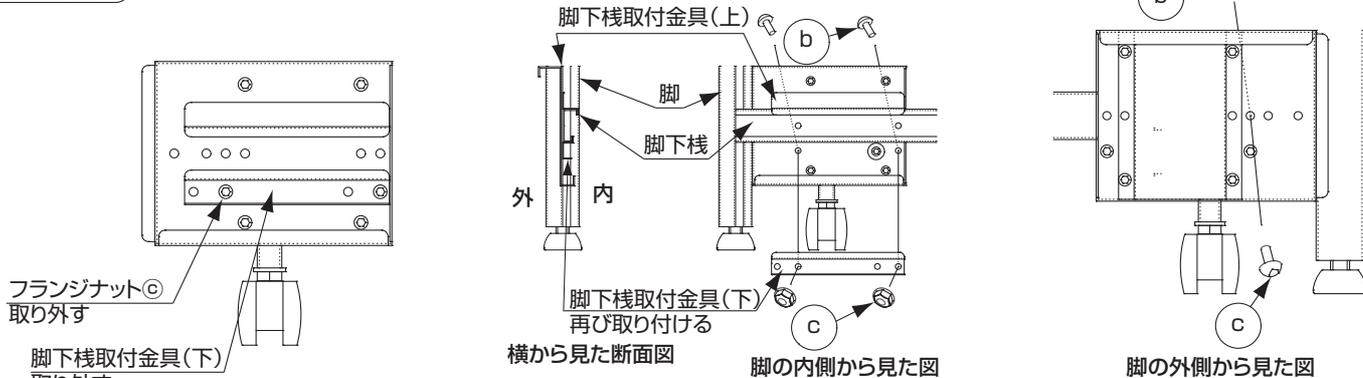
組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。＊万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細



組立順序 ※以下の作業は、作業台を起こした状態で行って下さい。



- 作業台の組み立てが終わると、フリーキャスター本体①に付いている脚下棧取付金具(下)のボタンボルト②とフランジナット③を取り外して下さい(2カ所)。
- フリーキャスター本体①の左右に注意して、図のように脚下棧取付金具(上)を作業台の脚下棧に挟み込んで下さい。そして1で取り外した脚下棧取付金具(下)を、作業台の脚下棧に挟み込むようにして、再びボタンボルト②とフランジナット③で仮止めして下さい(2カ所)。
- フリーキャスター本体①と作業台の脚下棧の穴を合わせて、外からボタンボルト②を差し込み、内からフランジナット③で仮止めして下さい(1カ所)。
 ※下棚を取り付ける時は、あらかじめボルトを外しておき、一緒に取り付けて下さい。その場合、フランジナット③は不要です。
- 仮止めした全てのボタンボルト②を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。
- 残り3つのフリーキャスター本体①も同様に取り付けて下さい。

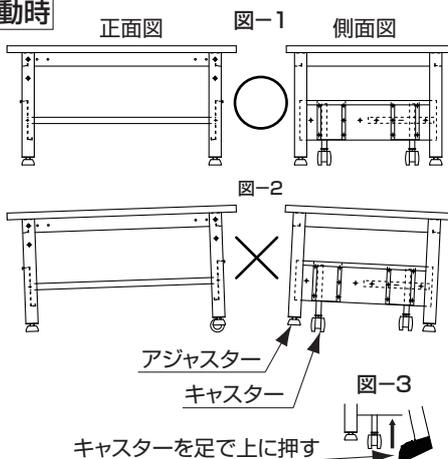
CFTD-50 操作方法

●CFTD-50は、作業台を一度持ち上げるとキャスターが効き、もう一度持ち上げるとキャスターが解除されるという特性があります。

※天板の上に何も載っていないのを確認してから、以下の作業を行って下さい。

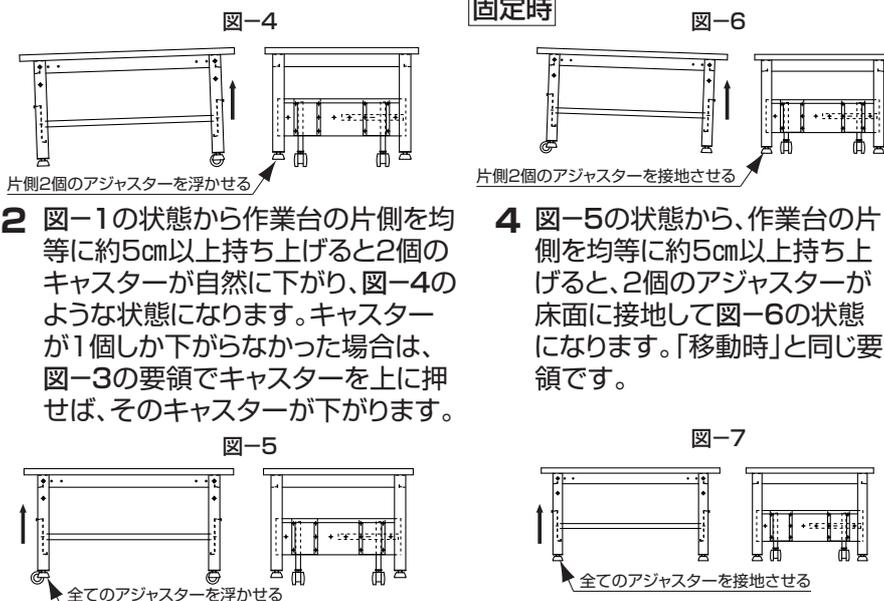
※図はCFW型ですが、操作方法は同じです。

移動時



- まず、作業台が図-1のようになっているか確認して下さい。図-2のように1個でもキャスターが床面に付いている(アジャスター浮いている)と危険ですので、そのキャスターがある部分を作業台ごと持ち上げ、図-3のように足でそのキャスターをいっぱいまで上に押せば、そのキャスターは引っ込みます。

固定時



- 図-1の状態から作業台の片側を均等に約5cm以上持ち上げると2個のキャスターが自然に下がり、図-4のような状態になります。キャスターが1個しか下がらなかった場合は、図-3の要領でキャスターを上を押せば、そのキャスターが下がります。
- 図-5のように、もう片側も同様に持ち上げて、全てのキャスターが床面に接地した状態にして下さい。4個のアジャスターがキャスターより浮いているのを確認してから、移動用としてご使用下さい。
- 図-5の状態から、作業台の片側を均等に約5cm以上持ち上げると、2個のアジャスターが床面に接地して図-6の状態になります。「移動時」と同じ要領です。
- 図-7のように、もう片側も同様に持ち上げて、全てのアジャスターを床面に接地させて下さい。4個のアジャスターが接地しているのを確認してから、固定用としてご使用下さい。